



レファレンス事例集

事例NO.146

Subitoを利用したドイツ語文献の取り寄せ

・質問

以下の文献を入手したい。

Der Übergang des Mietverhältnisses nach Art 261 OR - ein gesetzlicher Parteienwechsel mit Lügen und Tücken. AJP. 1994,539 ff.

[教員 (法学部), ILL申込, 2017年8月]

・調査の経緯, 回答

タイトルを特定するため書誌事項をGoogleで検索したところ, AJP/PJAとの表記があったため, 出版社サイト¹⁾からタイトルが“Aktuelle Juristische Praxis: AJP”であることがわかった。CiNii Booksで確認したところ, 国内に所蔵館はなかった。そこで次は海外の所蔵を調べた。British Library (以下BL)の所蔵を調べたが, 所蔵はなかった。National Library of Medicine (以下NLM)にも所蔵はなかった。当時私は, 「スピト (Subito)」の存在を知らなかったが, 留学経験のある教員からドイツは電子化が日本よりずっと進んでいたという話を聞いていたため, ドイツ国立図書館等からもBLやNLMのようにPDFで文献を入手できるのではないかと推測し, ネット検索してみた。すると, ドキュメント・デリバリー・サービス「Subito」²⁾を, すぐに見つけることができた。Subitoは1997年11月, ドイツで開始された文献提供サービスである。詳細については, 当時私が読んだ「図書館研究シリーズNo. 38」³⁾に詳しく書かれているので参照願いたい。

まず, Subitoの「Catalogue+: Article and Journal Search」から, 探している文献が入手可能か確認した。ドイツ語が読めない私は, Webサイトを英語表記に設定し利用説明の箇所を読み, 日本からも取り寄せ可能であること, すべての料金には著作権料が含まれており, 料金が安価であることがわかった。支払い方法は, ユーロによる振込またはクレジットカードによる決済となっていた。支払いに使える外貨預金口座がないこと, 振込手数料が数千円かかることを考慮し, 教員本人のクレジットカード決済が一番安価であると判断し, 教員に立て替え払いができないか相談した。教員の了承を得ることができたため, まずSubitoの「Register」から図書館の情報を登録

し, 目的の文献をオーダーした。Register時に登録したメールアドレス宛に, 文献PDFファイルやSubitoからの連絡が届いた。急ぎの場合は, 4.50€の追加料金を支払うと24時間以内に受け取ることもできるが, 本事例では急ぎでなかったため, 通常サービス (72時間以内) を選択した。その後, Register時に登録したメールアドレス宛に, オーダー内容と文献PDFファイルが届いた。そのメールには現地時間で午前3時にオーダーを受け, 同日午前10時には文献送付と記載されていた。時差もあり, オーダーの翌日朝一番に文献が届いているのを確認し, 教員に文献を渡した。一か月後, Subitoから図書館宛にメールで請求書の通知が届き, 1週間以内に支払い手続きをするよう指示があったため, 教員自身にクレジットカード番号等を記入してもらい支払い決済用書類をSubitoにFAXした。FAXした2週間後, 支払い完了通知のメールが届いた。教員には, クレジットカード明細到着後に公費で精算をしてもらった。

ILLでSubitoを利用することはその後もあり, 2019年には国内に所蔵のない学位論文の現物貸借をした。現物貸借は当時の記録で20€であった。

・補足

本事例で扱ったのは, 2017年の法学分野のドイツ語文献であった。本稿を執筆するにあたりSubitoのWebサイトを再確認したが, 価格は当時と変わらないようだ。以前はなかった利用説明の動画も追加されており, 非常にわかりやすくなっている。

当時Subitoの存在を初めて知った私は, 他館ではどのように対応しているか知りたいと思い, 他大学のWebサイトをいくつか探したが, Subitoの説明が少しだけ書かれた箇所を一つ見つけただけだった。

今回は法学系文献の取り寄せだったが, Subitoに資料を提供している図書館 (Supplier libraries) には, 欧州の医学図書館及び医学系大学図書館が含まれており, 国内の医学図書館においても既に利用されている館や, 今後利用できる館があるのではないだろうか。



レファレンス事例集

・情報源

- 1) AJP DIKE Verlag [internet]. <https://www.dike.ch/zeitschriften/ajp-pja> [accessed 2022-06-20]
- 2) Subito [internet]. <https://www.subito-doc.de/> [accessed 2022-06-20]
- 3) ウーヴェ・ローゼマン. ドイツの図書館サービスの最新動向: subito (スピト) と vascoda (ヴァスコダ).

In: 国立国会図書館関西館事業部図書館協力課. デジタル環境下におけるILL, ドキュメント・デリバリーとその運用基盤. (図書館研究シリーズ; No.38). 東京: 日本図書館協会; 2005.p.169-78.

(朝日大学図書館 村瀬由紀子
hyukiko@alice.asahi-u.ac.jp)

事例NO.147

あやしい学術雑誌評価ウェブサイトについて

・質問

学術雑誌「Journal of Dentistry for Children」への投稿を検討している。Journal Citation Reportsを使いインパクトファクターを調べたが、2002年以降は付与されていないようである。検索エンジンで調べたところ、あるウェブサイトで2020年までの数値が記載されている。情報の信頼性等、正確なことが分かれば知りたい。[教員(総合歯科学), Email受付, 2021年6月]

・調査の経緯

質問者が見たウェブサイトは“resurchify.com”というウェブサイトの「Journal of Dentistry for Children」に関するページ¹⁾である。確認したところ、ページ右側にImpact Score (IF) という表があり、年ごとの数値が2020年まで掲載されていた。次に、Journal Citation Reports (以下JCR) で雑誌情報を確認したところ、2001年までジャーナルインパクトファクター(以下JIF) が付与されていた。同じ提供元の論文データベース“Web of Science”を使い雑誌名で検索したところ、最新号までの論文情報が掲載されていた。Web of Scienceの論文情報はJCRの収録誌を基にしているという記憶があったので、その点も含めて提供元のClarivate社にメールで問い合わせた。

回答は、「JIFが付与される雑誌は、Web of Science Core Collectionの内、Science Citation Index Expanded (SCIE) と Social Science Citation Index (SSCI) の二つの索引に収録された雑誌のみとなる。当該雑誌は

2002年以降、SCIE収録対象外となったため、JIFは付与されておらず、現在、Web of Science Core CollectionのEmerging Science Citation Index (ESCI) に移行されており、今後、雑誌がSCIEの審査基準を満たし、再びSCIEに戻された場合はJIFが付与されるようになる」とのことであった。

“resurchify.com”にもメールで問い合わせをしたが回答はなかった。数日後、ウェブサイトを再度確認したところ、Impact Score (IF) の表記が、別の欄ではImpact Score (IS) となっており、誤表記ではないかと疑われた。またImpact Scoreについての説明欄を発見し確認したところ、その雑誌の発行論文数と被引用数による尺度で、引用情報は学術データベースScopusの引用情報を元に算出されているとの記載があった。

以上のことについて、質問者へ回答した。

・補足

今回の執筆にあたりJCRで当該雑誌の情報を調べたところ、依然としてSCIEには含まれておらずJIFも付与されていなかった。

調査時点で“resurchify.com”のスクリーンショットを残していなかったことが悔やまれる。執筆中に(約1年後に)当該ウェブサイトを確認したところ、Impact Score (IF) という誤表記は無くなっていた。また、ページ上部の目立つ箇所にNote欄があり、Impact Scoreは、JCRによるJIFとは異なることが記載されていた。断定はできないが、新たに設けられたNoteなの